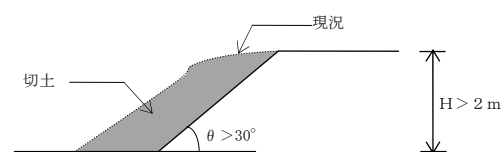


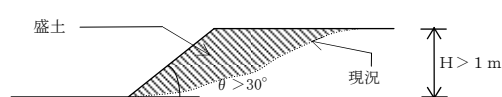
## 許可を要する工事（宅地造成等規制法）

### (1) 形質の変更（令第3条）

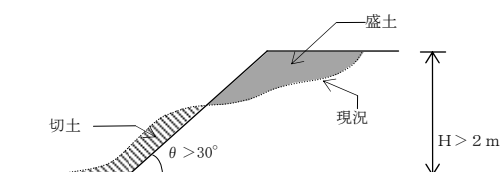
ア 切土の場合で、その部分に高さが2メートルをこえる『崖』ができるもの。



イ 盛土の場合で、その部分に高さが1メートルをこえる『崖』ができるもの。



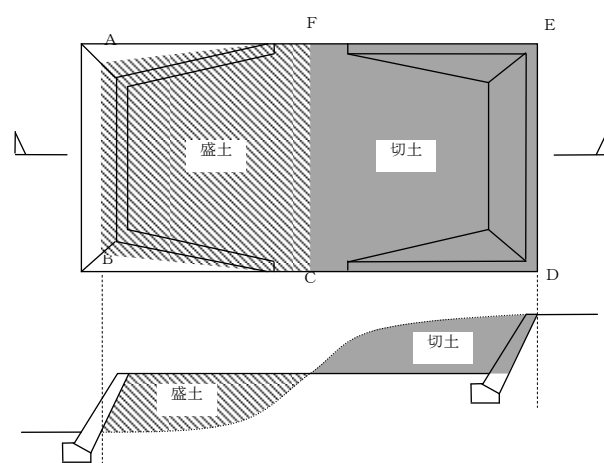
ウ 切土と盛土を同時にする場合で、盛土の部分に高さが1メートル以下の『崖』が生じ、かつ、切土と盛土を行った部分に、高さが2メートルをこえる『崖』ができるもの。



エ 前記ア、イ、ウ以外の行為で、切土又は盛土をする土地の面積が500平方メートルをこえるもの（事例a、b、cを参照。）

※建築物の建築自体と不可分な一体の工事と認められる基礎地業(根伐り)は、切盛土に該当しません。ただし、建築物の外周全部分を造成する場合は、建築物の基礎部分も、切盛土の範囲とします。

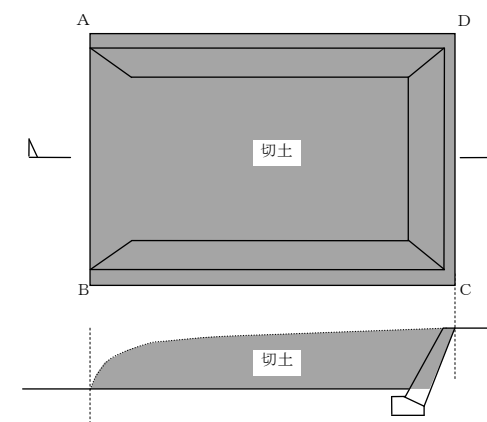
#### 《事例a》



・切盛土の範囲：A B C D E F

・A B C D E F > 500 m<sup>2</sup>ならば許可が必要

#### 《事例b》

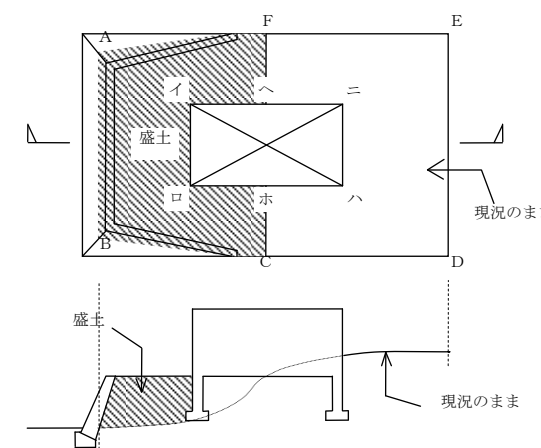


・切土の範囲：A B C D

・A B C D > 500 m<sup>2</sup>ならば、許可申請が必要。

・盛土の場合も同様。

#### 《事例c》



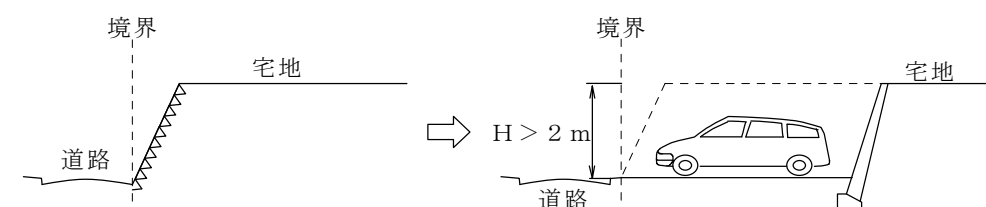
・切盛土の範囲：  
A B C F - イロホへ

・建築基礎部分：イロハニ

・A B C F - イロホへ > 500 m<sup>2</sup>ならば許可が必要

### (2) 崖の改善に伴う土地利用の変更

自然崖の保護や既存擁壁の改善とあわせて新たな土地利用を図り、形質の変更が生じる場合は、宅地造成に関する工事の許可が必要です。



宅地造成に関する工事の許可の要否については、建築局宅地審査部(JNビル6階)にてご確認ください。